

草の根技術協力（パートナー型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	モンゴル国
2. 案件名	公立学校のむし歯予防のためのフッ化物洗口推進プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	モンゴル国では、都市化や食生活の変化により児童のむし歯が深刻化し、口腔疾患が主要な保健課題となっている。これまで治療中心の対策が進められてきたが、予防体制は十分とは言えない。近年、政府は学校を基盤とした予防重視の政策へ転換しており、本事業はその方針と整合し、子どもの口腔衛生改善と持続可能な健康増進体制の構築に貢献するものである。
4. プロジェクト目標	対象校において学校歯科健診と歯磨き・フッ化物洗口が習慣化され、児童生徒の歯・口腔の健康が増進し、むし歯有病者率が減少する。
5. 対象地域	モンゴル国 ウランバートル首都圏9区と地方5都市 (ハンオール区、バガヌール区、スフバートル区、ソングノハイルハン区、バヤンズルフ区、ナライフ区、バヤンゴル区、バガハンガイ区、チンゲルテイ区、ダルハン市、エルデネット市、チョイバルサン市、アルタイ市、サインシャンド市)
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	直接受益者： ・ウランバートル首都圏9区と地方5都市の14の指定公立学校の児童生徒（低学年1～3年生約9,000人）、教職員（300人） ・歯科衛生士14人 間接受益者： ・対象校の全児童および教職員・地域住民
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<アウトプット> 成果1：学校歯科健診と歯磨き・フッ化物洗口を実施する人材が育成される。 成果2：学校歯科健診と歯磨き・フッ化物洗口が定期的な実施される。 成果3：対象地域ごとに「学校歯科保健委員会」が設立され、普及・啓発活動が実施されている。 成果4：全対象校による「全体協議会」が組織され、活動成果の共有がなされている。 成果5：行政機関の理解が促進され、事業の持続可能性が高まる。 <活動> 活動1：教育カリキュラムおよびフッ化物洗口マニュアルの開発、歯科衛生士の養成支援、学校歯科健診における実習の実施、ならびに本邦研修を通じて、学校歯科保健を担う人材の育成を行う。 活動2：機材提供やフッ化物濃度調査、歯みがき指導、歯科健診およびフッ化物洗口プログラムの導入、児童生徒への啓発活動を通じて、学校における歯科健診と歯磨き・フッ化物洗口の定期的な実施体制を構築する。 活動3：対象地域ごとに学校歯科保健委員会の発足を支援し、保護者・地域社会への啓発や家庭でのサポート強化、フッ化物洗口の実施状況のモニタリング・評価を行うことで、委員会による普及・啓発活動の継続的な実施体制を構築する。 活動4：全対象校による全体協議会の発足を支援し、定例会議を通じて進捗確認および情報共有を行うことで、各校の取組状況や活動成果が継続的に共有される体制を構築する。 活動5：未処置の永久歯むし歯有病者率に関するモニタリング調査の実施・検証、歯科衛生士制度の現状分析および配置に関するパイロット事業を通じて得られたエビデンスを基に行政機関へ政策提言を行う。
8. 実施期間	(西暦) 2025年2月～2028年12月(2年11ヵ月)
9. 事業費概算額	99,611千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	相手国政府関係機関：教育省、保健省 カウンターパート機関：健康都市強化センター(NGO) (Healthy City Strengthening Center (NGO))
II. 団体の概要	
1. 実施団体/指定団体	認定NPO法人健康都市活動支援機構
2. 主な活動内容	・健康推進に係る国内外団体との交流・連携、調査等の支援、普及・啓発に係る事業 ・健康の推進に係る講習会等の開催、出版物等の発行、Webサイトによる情報公開 ・医療及び福祉施設等の施設整備・運営支援、調査・研究・普及・啓蒙に係る事業 ・健康の推進に係る国際交流・協力・支援に係る事業